

## オーストラリア 多様な生鮮果実の世界的需要が拡大

[FreshPlaza 2025年1月3日](#)

### オーストラリアの多様な果実トップ10は世界的な需要が拡大

オーストラリアの果実産業は、クイーンズランド州の熱帯果実からビクトリア州やタスマニア州の温帯果実まで多様である。アボカド、マンゴー、ベリー類等の果実は主要輸出品目であり、経済に大きく貢献している。

**アボカド**は栄養価が高く、オーストラリアのほか、中国、日本等の国際市場でも需要がある。この需要は、アボカドの健康上の利点を強調する販売上の取組に支えられ、2025年も続くと予想される。クイーンズランド州とニューサウスウェールズ州が主要産地であり、水効率の高い農業の進歩により持続可能性が向上した。

**マンゴー**はオーストラリアの夏を象徴し、その優れた品質により、特に中東やアジアで旺盛な需要が見込まれる。北部準州とクイーンズランド州が主要産地であり、熟成・輸送段階の改善により、配送時の鮮度が最高に保たれている。

**ベリー類**は抗酸化作用が認められて世界的に人気を集めており、特に中国と日本で顕著である。包装とコールドチェーン物流の技術革新がこの成長を促進しており、ビクトリア州とタスマニア州が主要産地である。

**柑橘類**(オレンジ、マンダリン、レモン等)は、ビタミンC含有量のおかげで需要が急増している。リベリーナ、サンレイシアの両地域は、柑橘類の栽培で有名である。貯蔵寿命を延ばし、輸出の可能性を高める新たな技術が開発されている。

**生食用ブドウ**は、歯ごたえの良い食感と自然な甘さが評価され、中国、韓国、日本等で関心が高まっている。ビクトリア州と南オーストラリア州が生産をリードしており、収量を増やすため病害虫に強いブドウ品種に力を入れている。

**リンゴ**は食物繊維が豊富なことから好まれており、タスマニア州とビクトリア州が生産をリードしている。有機栽培品とプレミアム品種の導入は、より健康的な選択肢を求める消費者の需要に応じており、東南アジアへの輸出拡大に重点を置いている。

**バナナ**は依然としてオーストラリアの食生活の定番であり、クイーンズランド州の熱帯地域が主な産地である。生産効率と病害管理を改善するための取組みは、国内需要と輸出需要の両方を満たす鍵である。

**核果類**(モモ、スモモ、ネクタリン等)は、ジューシーな風味で人気がある。ビクトリア州とニューサウスウェールズ州が主要産地であり、包装の改善により輸出時の鮮度が確保されている。

**パイナップル**はトロピカルな風味で知られ、生食用と加工用の両方の需要がある。クイーンズランド州沿岸地域の持続可能な農法は、この需要を満たす鍵である。

**サクランボ**は高級果実と見なされ、中国、日本、韓国等の国際市場で大変人気がある。タスマニア州とビクトリア州が生産をリードしており、コールドチェーンの進歩により最適な鮮度が保証されている。

出典: [Editorialge](#)